

復員廳第二復員局公報

第一二二號

昭和二十二年七月二日(水)
第二復員局文書課

○通 牒

二復總第三二二號

昭和二十二年六月二十八日

復員廳第二復員局總務部長

各都道府縣(教育)民生部(局)長殿

舊地方世話部第二復員課長宛書類ノ宛名ヲ一
律ニスルコトニツイテ照會

舊地方世話部ガ、過般夫々都道府縣(教育)民生部(局)ニ編入サレタガ、舊第二復員課長ニ對スル新名稱ガ、地方ニヨツテ區々デアルトメ、各部ニ關係ノアル書類又配付スル場合、連名ノ宛名ヲ用イルノニ一々正式ノ名稱ヲ連記スルコトハ困難デア
ルカラ、右ノ場合ハ、一律ニ、「民生部第二世話課長」ノ宛名ヲ用イルコトニ致シタイカラ了承願イマス。但シ、封筒ノ表書き及ビ單獨ニ、縣別ニ送付スルモノノ宛名ハ、正式ニ記註スルコトニ致シマス。

二復總第三二八號

昭和二十二年六月三十日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

解撤艦艇引渡要領ノ一部改正ノ件通知

復員廳第二復員局公報 第一二二號 昭和二十二年七月二日

四月二十一日附二復總第一三八號(同月二十二日第二復員局公報)解撤艦艇引渡要領ノ一部ヲ次ノヨウニ改メラレタカラ了知サレタイ。

一 第四號ヲ次ノヨウニ改メル。

引渡ハ關係地方復員局長、引渡先所在ノ都道府縣知事、財務局長、海運局長、造船所長(又ハ解撤業者)又ハ夫々ノ代表者立會イノ上實施スル。

關係地方復員局長ハ引渡書(様式第一)ニ現狀調書(様式第二)及ビ引渡物件目録(様式第三)各一通ヲ添ヘ都道府縣知事ニ渡シツノ寫一通ヲ各引渡立會者ニ渡ス。

都道府縣知事カラ財務局ヲ經テ引渡ヲ受ケタ造船所長(又ハ解撤業者)ハ領收書ヲ財務局長ニ差出シツノ寫一通ヲ各引渡立會者ニ差出ス。

調製書類、目録等ハ次ノヨウデアル。

書類名	様式	通數	差出(渡)先	調製者
引渡書(様式第一)	寫一	一	都道府縣知事	地方復員局長
		一	財務局長	
		一	造船所長(又ハ解撤業者)	
		一	海運局長	

一三五

2820

0584

領收書 様式第一 ニ準ズル	寫一	都道府縣知事	造船所 長又ハ 撤業者	現狀調書 様式第二	寫一	都道府縣知事	地方復 員局長	引渡物件目 録 様式第三	寫一	都道府縣知事	陸揚物件目 録 様式第四	聯合軍引渡 物件目録 様式第五	二 同 右	二 同 右	二 同 右
	寫一	海運局長			都道府縣知事	寫一			海運局長	都道府縣知事					

(艦艇名)ヲ内務省ニ引渡シマス

二 様式第一ヲ次ノヨウニ改メル。
様式第一

引渡書

但シ大藏省ヲ經テ○○造船所(○○組)ニ引渡シ
ノ分
昭和 年 月 日
○○地方復員局長
氏 名 印

○○都道府縣知事
氏 名 殿
立會人 ○○財務局長 氏 名 印
○○造船所長(○○組) 氏 名 印
○○海運局長 氏 名 印

○轉官
五月十日 運輸技官ニ轉官 復員事務官 熊井 安彦

○雜 缺

0585

0585

復員廳第二復員局公報

第一三三號

昭和二十二年七月七日(月)
第二復員局 文書課

○令 達

復二第四六〇號

昭和二十年內令第七號中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年六月二十六日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「竹生(佐)」ヲ削ル。
下關掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「鶺鴒(佐)」ヲ削ル。
阪神掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「生名(佐)」ヲ削ル。

(參照 昭和二十二年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第四六一號

佐世保地方復員局所管

掃海艦 新 南

右ノ復員廳第二復員局掃海監部附屬トシタノヲ解ク。

昭和二十二年六月二十六日

復員廳總裁

復二第四六二號

佐世保地方復員局所管

復員廳第二復員局公報 第一三三號 昭和二十二年七月七日

右ノ特別輸送艦ト改メル。

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 竹

同 鶺鴒 生

同 新 南

同 鶺鴒 生 南

右ノ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十二年六月二十六日

復員廳總裁

○通 牒

二復總第二三三號

昭和二十二年七月二日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

電波規正處理ニ關スル件照會

0586

首題ノ件ニツキ別紙ノ通り照會ガアツタカラ了知セラレタイ。
波監第一二二八〇號

昭和二十二年六月十九日

東京 逓信局 長

電波規正處理ニツイテ
（波監第五四一七號 二二一、八、二六） 關連
（波監第四六一八號 二二二、三、一八） 關連
電波ノ規正ニツイテハ、サキニ通知シタノデ種々御配意ノコトト存ジマスガ、規正電波ノ措置ニツイテハ連合軍總司令部カ要ノ強テ要求モアルノデ、今後電波觀測所等カラ規正ノ指示ガアツタ場合ハ直チニ相當措置スルト共ニソノ原因（特ニ責任ノ所在ヲ明瞭ニスルコト）ヲ詳細ニ調査シソノ結果及ビ措置ノ經過ヲ指示ヲ受ケタ時間以内ニ電報又ハ電話デ左記ニ報告スルコトニナツタカラ貴關係ノ向キニ通達願イタイ。
ナオ、ソノ措置ニ相當時日ヲ要スルモノ又ハ報告事項ガ複雑ナモノニツイテハ取りアエズ右時間内ニ一應報告シタ上又ハ口頭ニテ詳細報告セシメラレタイ。

先	場所	電	話	電報番號	備考
逓信省 電波規正部	東京都 飯倉町	丸の内(23) 〇〇〇(直通)			夜間ハ中央電波觀測所アテ報告セラレタイ。
又ハ 中央電波觀測所	埼玉縣 梶野町 林道	赤坂(48) 〇〇〇(代表)			
		〇〇〇		リンドウ ムセン	

第一番電（昭和二十二年七月二日發電済）

發 經理部長
宛 部内一般

係給支給日特別ニ關スル件

七月分ノ恒例諸給與（暫定加給ノ臨時増給ハ六割トスル）（食料ヲ除ク）ノ支給日ハ七月三日ニ繰上ゲラル。

尚昭和二十二年六月二十二日第一番電（六月十六日公報參照）中「四月分乃至六月」ヲ「四月分乃至七月」ニ改メル。

○ 雜 款

○事務所名稱變更

香川縣教育民生部第二世話課（封面ハ「香川縣第二世話課」ノコト）

香川縣高松市昭和町

3830

0587

復員廳第二復員局公報

第二二三號

昭和二十二年七月九日(水)

第二復員局文書課

命令

復二第四六六號

元驅逐艦 柿

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 雄 竹

元海防艦 宇 久

元第五百十號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第二百七號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年七月四日

復員廳 總裁

復二第四六七號

元驅逐艦 樺

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年七月五日

元第四百四號海防艦

復員廳 總裁

復二第四六八號

元驅逐艦 響

元第三十四號海防艦

元第五百五號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第九十六號海防艦

元第二百二十七號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元驅逐艦 樺

同 椎

元海防艦 占 守

右ヲ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

復員廳第二復員局公報 第二二三號 昭和二十二年七月九日

一三九

0800

0588

昭和二十二年七月五日

復員廳總裁

復二第四六九號

元驅逐艦 雪 風

元海防艦 四 阪

元第十四號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元驅逐艦 楓

元第九十四號海防艦

元第二百五號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元驅逐艦 初 梅

元第六十七號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年七月六日

復員廳總裁

○雜 款

○郵便物發送先

試航船 榮 丸

自六月二十四日 下關掃海部徳山
至八月上旬 基地氣付

特別保管艦 海第十六號 八月上旬以降下關掃海部氣付
横須賀市田浦町横須賀保管艦部氣付

○事務所名稱變更

大阪府民生部第二世話課

大阪市東區馬場町

石川縣教育民生部第二世話課

金澤市下本多町(第一世話課現在ノ建物内ニ同居)

○改姓

昭和二十二年 奥野ニ改姓 復員事務官 柴田 正 (電報符
二九三)

8830

0589

復員廳第二復員局公報

第二二四號

昭和二十二年七月十一日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第四七八號

昭和二十二年度歳出科目ニ次ノヨウニ設置サレタ。

昭和二十二年七月十日

復員廳 總裁

昭和二十二年度 大藏省所管

科	部	項	目	解	施	會計年度
	特殊債務處理費	特殊債務處理費				昭和二十二年
	特別償還金	特別償還金				昭和二十二年
	特別償還金	特別償還金				昭和二十二年

○通 牒

復經主第二號ノ六一

昭和二十二年七月十日

復員廳第二復員局公報 第二二四號 昭和二十二年七月十一日

關係各廳長殿

復員廳第二復員局經理部長殿

豫算決算及ビ會計令第十七條第三項ニヨツテ

大藏大臣ノ指定スル經費ニ關スル件通牒
首題ノ件ニツイテ總理廳官房會計課長カラ別紙ノ通り通知ガ
ツタカラ了知サレタイ。

會送第五六〇號

昭和二十二年六月二十三日

總理廳官房會計課長

第二復員局經理部長殿

豫算決算及ビ會計令第十七條第三項ニヨツテ

大藏大臣ノ指定スル經費ニツイテ
右ニツイテ別紙ノ通り大藏大臣ヨリ通知ガツタノデ通達ス
ル。

藏計第二八三號

昭和二十二年六月十七日

大藏大臣 矢野庄太郎

内閣總理大臣 片山 哲殿

豫算決算及ビ會計令第十七條第三項ニヨツテ
大藏大臣ノ指定スル經費ニツイテ

0590

右ニツイテ、別紙ノトオリ決定シタカラ通知スル。

豫算決算及ビ會計令第十七條第三項ニヨツテ
大藏大臣ノ指定スル經費ニツイテ

(昭和二十二年六月十七日省議決定)

豫算決算及ビ會計令第十七條第三項ノ規定ニヨツテ、大藏大臣
ノ承認ヲ經オケレバ、部局等内ノ同一項ノ經費ノウチデ、コレ
ニ他ノ經費ノ金額ヲ流用シ又ハソノ經費ノ金額ヲ他ノ經費ニ流
用スルコトガデキナイ經費ヲ次ノヨツニ指定スル。

- 一、超過勤務手當
- 二、賃金
- 三、賠償及ビ償還金
- 四、利子及ビ割引料
- 五、年金及ビ恩給
- 六、保險金
- 七、他會計へ繰入
- 八、貸付金
- 九、給與特別措置費

○ 雜 款

○事務所移轉

岩手縣教育民生部世話課第二復員係

盛岡市内丸五八番地ノ六

岩手縣世話課構内(電話盛岡一五九三)

0000

0591

復員廳第二復員局公報

第一二五號

昭和二十二年七月十四日(月)
第二復員局 文書課 文

○通牒

復二第四八四號

昭和二十二年七月十一日

復員廳第二復員局長

各廳長殿

署中半休ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り次官會議デ申合セガアツタカラ了知サレタイ。

業務課長

(二二、七、三)
次官會議

本年七月二十一日カラ八月三十一日マデノ署中半休ハ閣令ノトオリトスル。但シ、退廳時間後ノ連合車關係ノ用務ノ他緊要ナ用務ノ處理ニツキ支障ノナイヨウ居残り勤務ノ他適當ノ措置(昭和二十一年六月十日内閣閣甲第二〇七號通牒參照)ニヨリ遺憾ナキヲ期スルコト。

(參照)

閣令(官廳執務時間並休暇ニ關スル件)(抄)

七月二十一日ヨリ八月三十一日迄

午前八時ヨリ午後十二時迄

官廳執務態勢ノ強化ニ關スル件(昭和二二、六、一〇)
次官會議申合

(昭和二二、六、一〇)
内閣閣甲第二〇七號通牒

官廳執務態勢ノ強化ニツイテハ、各廳トモ既ニ客年十二月二十四日内閣閣甲第五六六號及本年二月二十一日内閣閣甲第四七號通牒ニヨツテ、ソレゾレ事務處理ニ支障ノナイヤウ措置シ居ルコトト思ハレルガ、退廳時間後又ハ休日、休曜日等ニ起ツク聯合車關係ノ用務其ノ他ノ緊要ナ事務ノ處理乃至連絡ニ支障ヲ來スコトノナイヤウニ、例ヘバ

- 一 主要部局ニハ必ず居残り勤務者又ハ休日、休曜日ノ當直者ヲ置クコト。
 - 二 居残り勤務者又ハ休日、休曜日ノ當直者ハ必ず事務處理能力ヲ有スル責任者ヲ選定シテコレニ當ラシムルコト。
 - 三 電話交換手ハ二部勤務又ハ三部勤務トスル等執務時間中ハ勿論、執務時間外ニオイテモ電話連絡ニ支障ヲ來サナイヤウニ措置スルコトヲ考慮スルコト。
- 等今後一層右通牒ノ趣旨ノ徹底ニツトメルコト。

二復經主第七號ノ三六

昭和二十二年七月七日

社松

復員廳第二復員局公報 第一二五號 昭和二十二年七月十四日

一四三

8880

0592

關係各廳長殿

復員廳第二復員局經理部長

鐵道賃ノ改正ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ運輸省ニオイテ本七日ヨリ鐵道賃ヲ次ノヤウニ改正サレタカラソノヨウニ取計ソレタイ。

記

一 鐵道ノ大人普通旅客運賃ノ賃率ハ左ニヨル。

每百五十粒以下ノ粒程	三等	三十五錢
	二等	一圓五錢
	一等	二圓十錢
每百五十粒以上ノ粒程	三等	二十五錢
	二等	七十五錢
	一等	一圓五十錢

最低大人普通旅客運賃ハ三等一圓、二等三圓、一等六圓

鐵道ノ大人普通旅客運賃ハ旅客ノ發着區間粒程ヲ前號ノ賃率ニ乘ジ合算シ端數ヲ左ニヨリ整理シタルモノトスル。

十圓以下ノ額 二十四錢以下ハ切捨テ、二十五錢以上、七十四錢以下ハ五十錢ニ、七十五錢以上ハ一

圓ニ切上ゲル。

十圓ヲ超エ百圓以下ノ額 四十九錢以下ハ切捨テ、五十錢以上ハ一圓ニ切上ゲル。

百圓ヲ超ユル額 二圓四十九錢以下ハ切捨テ、二圓五十錢以上七圓四十九錢以下ハ五圓ニ、七圓五十錢以

三 航路ノ大人ノ普通旅客運賃ハ左ニヨル。

區分	三等	二等	一等
稚、内、大、泊、港、間	五、六、〇、〇	一、六、八、〇	四、五、〇、〇
青、森、函、館、間	四、〇、〇、〇	一、二、〇、〇	三、二、四、〇
宇、野、高、松、間	七、〇、〇、〇	二、二、〇、〇	〇、〇、〇、〇
仁、方、堀、江、間	二、五、〇、〇	〇、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇
宮、島、口、宮、島、間	一、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇
大、品、小、松、港、間	三、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇
下、關、門、司、港、間	三、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇
下、關、釜、山、間	二、四、〇、〇	〇、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇
博、多、港、釜、山、間	八、〇、〇、〇	二、四、〇、〇	六、〇、〇、〇

前項ノ旅客運賃ニハ食費ヲ含マナイ。

四 急行料金ハ左ニヨル。但シ小兒ニ對スル急行料金ハ半額トスル。

區分	三等	二等	一等
六、百、粒、迄	五、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇	一、五、〇、〇
千、二、百、粒、迄	七、五、〇、〇	一、五、〇、〇	二、二、五、〇
千、二、百、粒、以、上	一、〇、〇、〇	二、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇

0593

復員廳第二復員局公報

第一二六號

昭和二十二年七月十八日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第五〇〇號

元驅逐艦 楠

同 萩

同 竹

元海防艦 福江

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 波太

右ヲ特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第八號海防艦

元第三十二號海防艦

元第五十五號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十二年七月十六日

復員廳總裁

○通 牒

復二第四八五號

昭和二十二年七月五日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

海軍軍人軍屬逃亡者身上取扱ニ關スル件通牒

海軍軍人及ビ軍屬デ、終戦前又ハ終戦後現地ニオイテ逃亡シタモノデ、ソノ身上取扱ニツキ未處理ノモノハ、昭和二十二年五月政令第五十二號又ハ同年五月復二第三九二號ニヨリ、同年五月三日ヲ以テソノ身分ヲ失ウト共ニ、現地ニオイテ解員又ハ整理サレタモノトスル。

前項ノ規定ニヨリ解員又ハ整理サレタ者ニ對シテハ、歸郷旅費及ビ解員以下ノ退職手當ハ、支給シナイヨウニ定メラレタカラ承知サレタイ。

復二第四八六號

昭和二十二年六月二十五日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

被服物品ノ貸與取扱改正ニ關スル件通牒

昭和二十二年四月二十四日附復二第三〇八號被服物品ノ貸與取

復員廳第二復員局公報 第一二六號 昭和二十二年七月十八日

一四五

0594

扱ニ關スル件中次ノヨウニ改正サレタ。

一 左記中第五號ヲ第六號トシ以下順次繰下テ第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加エル。

五 前第二、三、四號ノ規定ニ對スル取扱整理ヲ明確ナラシメルタメ所轄長ハ(別表)ハノ表ヲ準備保管シ轉勤退職ノ場合ハ交付品トモニ携行セシメルモノトスル。

二 (別表)ロノ次ニ別表ヲ加エル。

(別表添)

4030

0595

復員廳第二復員局公報

第二二七號

昭和二十二年七月二十六日

第二復員局 文書課

○通牒

復二第五一三號

昭和二十二年七月二十四日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

艦船ノ引渡要務ニ從事スル通譯ノ身上取扱ニ
關スル件中一部改正ノ件通牒

復二第四四三號首題ノ件次ノヨウニ改正サレタ。
本文中「通譯」ノ下ニ「及ビ割烹手」ヲ加ヘル。
左記第一號(中)ヲ次ノヨウニ改メル。

海軍引渡終了後通譯ハ全員東京ニ出張シ業務報告並ビニ
行ワシメル(所要旅費中往路ハ歸投地ノ復員局、ノ
他ハ中央ニオイテ支給スル)

二復總第二五九號

昭和二十二年七月一日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

横濱援護所ニ於ケル復員業務取扱ノ件通知

米軍管理下ノ外地ニ戦犯關係其ノ他特殊ノ事情ヲ殘留シテキル

復員廳第二復員局公報 第二二七號

昭和二十二年七月二十六日

一四七

邦人ノ受入業務ヲ實施スル爲設置サレタ引揚援護院横濱援護所
(長濱檢疫所内)ニ於ケル復員業務ノ取扱ニ關シ左ノ通り定メラ
レタカラ了知アリケイ。

一・横濱援護所ニ於ケル復員業務ハ横須賀地方復員局ノ管轄ト
スル。

二・横濱援護所ニ海軍關係ノ受入者ガアル場合横須賀地方復員
局長ハ其ノ都度所要ノ人員ヲ同援護所ニ派遣シ復員業務ヲ處
理スル。

三・横須賀地方復員局長ハ他所管ノ歸還者ニ關シ所要ノ事項ヲ
關係地方復員局長ニ通報スル。

四・横濱援護所ニ於ケル歸還者ノ豫報ハ聯合軍司令部ヨリノ通
知ニ基キ第二復員局總務部又ハ横濱援護所カラ之ヲ行フ。

五・第二號ノ派遣ニ要スル經費ハ第二復員局經理部長ニ協議ス
ルモノトスル。

二復入扶第一六號ノ二二六

昭和二十二年七月十九日

復員廳第二復員局人事部長
復員廳第二復員局經理部長

各地方復員局人事部長
各地方復員局經理部長
各都道府縣第二世話課長

遺骨傳達委託ノ際ノ遺族給與金取扱ヒニ關スル件照會

首題給與金ノ取扱方ニ關シテハ自今別紙ニヨリ處理セラレタ

イ。

(別紙)
一 死亡賜金、葬祭料及ビ遺族出頭旅費(以下遺族給與金トイフ)ハ在籍ノ第二復員局經理部又ハ地方復員局經理部ニ於テ支出スルヲ建前トスル、但シ遺族方當該人事部ノ管外ニ居住シタル遺骨傳達ヲ委託スル場合ニハ當該經理部ハソノ受託經理部ニ遺族給與金ノ支給方ヲ未給通牒ニヨリ通牒スルモノトスル。

二 前號但書ニ該當スル場合在籍ノ經理部ニ於テ既ニ遺族給與金ノ支出済デアルガコレガ未交付ノモノアルトキハ當該給與金ノ種別金額ノ内譯書ヲ遺骨傳達式(委託)名簿ニ添付シ未交付金ハ受託經理部ニ送金スルコトガデキル。

三 受託廳當該受給者名義給與金ノ送付ヲウケタル後遺族轉居等ノ事由ニヨツテ未交付ノママ更ニ委託換ヘシスルトキハソノ給與金ヲ名簿ニ添附ノ上交付方ヲ移牒スルコトガデキル。

四 第一號ノ給與金ハ死歿者ノ身分ニヨツテ一律ニ處理シ得ナイモノガアルノデ遺骨傳達式名簿ニハ左ノ事項ヲ漏レナク記入シ且ツコレガ送付並ビニ連絡事項ニハ充分日時ノ餘裕ヲオイテ當該經理部ノ支出事務ニ支障ノナイヤウニスルコトヲ要スベキ給與金ノ種別及ビ金額

(ハ) 身分(官職階)無報酬者ハソノ旨遺骨傳達ノ期日

二復經主第八號ノ三五〇

昭和二十二年七月二十四日

第二復員局經理部長

各地方復員局經理部長
歳入徴收官官殿
支出納官官吏殿

計算證明規則ニ依ル計算書ノ提出回數及ビ提出期限ニ關スル件通知

首題ノ件別表ヲ通り定メラレタカラ通知スル

(別表添)

○ 難 款

○ 郵便物發送先

試航船 榮 昌 丸 岡山縣玉野郵便局氣付

○ 事務所設置、移轉

門司試航船基地設立準備事務所ヲ七月十日設置

下關市吉見町下關掃海部内

門司試航船基地設立準備事務所

石川縣教育民生部第二世話課

金澤市下木多町三番丁(第一世話課内)

電話金澤(五七〇一)

(五七〇二)

0598

(二復經主第八號ノ三五〇別表)

種別	提出回数	提出者	地方復員局 局長	第二復員局 局長	摘要
歳入徴收額 計算書	年四回	歳入徴收官	自四月至六月ノ分七月十日限	自四月至六月ノ分七月二十日限	
収入金現金 出納計算書	年四回	収入官吏	自七月至九月ノ分十月十日限	自七月至九月ノ分十月二十日限	
支出計算書	毎月	支出官	自一月至出納閉鎖期出納閉鎖後十日限	出納閉鎖後二十日限	
前渡資金出 納計算書	毎月	資金前渡官吏	翌月十日限	翌月二十日限	
物品出納計 算報告書	年一回	物品會計官吏 經理部長	翌年度四月十日限	翌年度四月二十日限	袖給用物品及船舶修理用物品ノミ
物品出納計 算報告書	年一回	物品會計官吏 經理部長	翌年度四月末日限	翌年度五月二十日限	前號物品ノ除ク

(昭和二十二年七月二十六日復員廳第二復員局公報)

0599

復員廳第二復員局公報

第一二八號

昭和二十二年七月三十日(水)
第二復員局文書課

○令 達

復二第五一五號

第二復員部内掃海慰勞金支給規則中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年七月二十五日

復員廳 總裁

別表ヲ別表ノヨウニ改正スル。

附 則

本令ハ昭和二十二年六月一日ヨリコレヲ適用スル。

職 分	金 額	
	試験船試航後 乗員	同上以外 乗員
官吏(二級)部内限 待 遇 者	一、七〇〇圓以内	一〇、四〇〇圓以内
官吏(三級)部内限 待 遇 者	九、一〇〇圓以内	七、八〇〇圓以内
雇員、傭人及ビ無 待 遇 傭 託 者	七、八〇〇圓以内	六、五〇〇圓以内
備 考	掃海支部長及ビ艦船長ニハ本表ノ十分ノ二以内ヲ増給ス ルコトガデキル	

○通 牒

復員廳第二復員局公報 第一二八號

昭和二十二年七月三十日

一四九

二復經主第七號ノ四三

昭和二十二年七月二十五日

關係各廳長 殿

復員廳第二復員局經理部長

掃海慰勞金支給細目ニ關スル件中改
正ノ件通牒

昭和二十一年六月二復經主第七號ノ六一掃海慰勞金支給細目ニ
關スル件(同月十一日公報)中次ノヨウニ改正シ昭和二十二年
六月一日ヨリコレヲ適用スル。

二 掃海慰勞金ハ勤務期間十四月未滿ハ別表第一、勤務期間
十四月以上ハ別表第二ノ各支給率ニヨリコレヲ支給スル。

別表中「十二月以上」ヲ「十二月以上十四月未滿」ニ改メ「別
表」ヲ「別表第一」ニ改メ
別表ノ次ニ別表ヲ加ユル。

二復經主第七號ノ六九

昭和二十二年七月二十八日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長 殿

復員廳第二復員局歳入歳出事務取扱要領中一
部改正ノ件通牒

四月一日二復經主第二號ノ二五首題事務取扱要領別表第一計算報告書類表中豫算月頭報告ノ項ヲ削除シ、收入金現金出納計算

書及ビ前渡資金出納計算書ノ各項ヲ次ノ通り改メラレタ。

種類	提出者	提出先	期限	備考
收入金現金出納計算書	收入官吏	下檢査官吏 (所管地方經理部長)	自四月至六月ノ分 自七月至九月ノ分 自十月至十二月ノ分 自一月至出納閉鎖期ノ分	計算證明規則第六號書式ニヨリ調製ノ上 證憑書類ヲ添ヘ提出スル。
前渡資金出納計算書	資金前渡官吏	下檢査官吏 (所管地方經理部長)	翌月十日	計算證明規則第四號書式ニヨリ調製ノ上 支拂證憑書類ヲ添ヘ提出スル。

(參照 昭和二十二年四月十八日第二復員局公報)

○難 款

○事務所名稱變更

岡山縣民生部世話課第二復員科
岡山市上伊福九四六(岡山縣廳内)

○郵便物發送先

特別保管艦 竹 生 横須賀市田浦町
横須賀管船部氣付
同 鶉 來 同
同 生 名 横須賀市田浦局氣付

同 桐、萩、樺、横須賀市田浦町横須賀管船部内
初櫻、柿、苺 第二群殘務整理事務室

0000

0601

（二）復經主第七號ノ四三別表第二

持海慰勞金支給標準

（昭和二十二年七月三十日復員廳第二復員局公報）

四〇〇時間未滿	四〇〇時間以上	九〇〇時間以上	一四〇〇時間以上	一九〇〇時間以上	二四〇〇時間以上	作業時間	等級別	十四月以上		十六月以上		十八月以上	
								海艦船乘員	試験船乗員	海艦船乘員	試験船乗員	海艦船乘員	試験船乗員
三二二 員級級	三二二 員級級	三二二 員級級	三二二 員級級	三二二 員級級	三二二 員級級			三、四、五、 九、五、八、 〇〇〇	三、三、五、 二、九、二、 五〇〇	四、四、六、 二、九、三、 〇〇〇	三、四、五、 五、二、六、 〇〇〇	四、五、六、 五、二、七、 〇〇〇	三、四、六、 七、五〇、 〇〇〇
								四、五、六、 五、三、八、 〇〇〇	三、四、六、 八、五〇、 〇〇〇	五、五、七、 〇、八、三、 四八八	四、四、六、 一、九、五、 〇二六	五、六、七、 二、一、九、 八六二	五、六、七、 四、八、六、 〇〇〇
								五、六、七、 二〇、八、 三〇〇〇	四、五、六、 三、二、九、 五二六	五、六、八、 六、五、四、 四八六	四、五、七、 七、六、五、 〇四二	六、七、九、 〇〇〇、 六、七、九、 〇〇〇	六、七、九、 〇〇〇、 六、七、九、 〇〇〇
								五、六、八、 八、八、八、 〇〇〇	四、五、七、 九、八、八、 〇八四	六、七、九、 三、四、五、 六二四	五、六、八、 三、三、四、 〇六八	六、七、〇、 八、九、二、 四八六	五、六、九、 七、八、一、 〇四二
								六、七、九、 五、六、八、 〇〇〇	五、六、八、 四、五、七、 五〇〇	七、八、〇、 〇、二、六、 八六二	五、七、九、 九、〇、四、 〇八四	七、八、一、 六、八、四、 二九三	六、七、〇、 三、六、一、 五二六
								六、七、九、 六、七、九、 〇〇〇	五、六、八、 五、六、八、 〇〇〇	七、八、〇、 二、四、八、 〇〇〇	六、七、九、 〇、二、六、 〇〇〇	七、九、一、 八、一、七、 〇〇〇	六、七、〇、 五、八、四、 〇〇〇
								海艦船乘員	同上以外掃	海艦船乘員	同上以外掃	海艦船乘員	同上以外掃
								試験船乗員	同上以外掃	試験船乗員	同上以外掃	試験船乗員	同上以外掃

0602